



令和 7 年 6 月 23 日

広島大学ワクチン・医薬品製造拠点整備工事起工式を行いました

広島大学ワクチン・医薬品製造拠点整備工事がこの度着工することとなり、下記のとおり起工式を行いました。本拠点は経済産業省の「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」に大学では唯一採択されたものとなります。

記

日 時 令和 7 年 6 月 23 日（月） 13 時 45 分～14 時 30 分
場 所 広島大学霞キャンパス 薬学部研究棟東側
（広島県広島市南区霞一丁目 2 番 3 号）

【広島大学ワクチン・医薬品製造拠点整備事業】

本事業は、次の有事の感染症パンデミックにおけるワクチンや次世代の革新的な治療薬の製造を行う施設を整備するものです。

<本事業の背景・ポイント>

- 感染症有事の際には、速やかに産学官が連携してワクチンを開発し、有効性及び安全性が確保されたワクチンを製造することで、必要なワクチン量を確保することが政府の行動計画に定められています。
- また、平時からの創薬では、治験薬の少量生産が国内では困難なことやアカデミアシーズの開発を初期段階から支援する仕組みが少ないことなどが、「創薬の死の谷」と呼ばれ、創薬スタートアップが成長できない原因となっています。
- そのため、本事業では霞キャンパスに治験薬製造施設を整備します。
- 平時には、治験のために少量での原薬や製剤の提供が可能です。日本では少量製造が可能な施設が少なく、アカデミアやスタートアップ企業が治験を実施する際、大きな壁となっていることにソリューションを提供します。
- さらに、感染症有事には、国からの要請・指示に基づき、感染症ワクチンの治験薬を生産・供給することとなっています。
- このように平時にはワクチン以外の医薬品の製造が可能であり、感染症有事にはワクチンの製造が可能な両用性のある設備（デュアルユース設備）として、国内でも希少な拠点となります。

- ・ 2026 年（令和 8 年）9 月 竣工 予定
2027 年（令和 9 年）運用開始 予定
- ・ 地上 4 階 鉄骨構造
- ・ 建築面積 640.84 m²
- ・ 延床面積 2564.12 m²
- ・ 全体事業費 約 50 億円
- ・ 設計 株式会社アーキサイエンス
- ・ 施工

建築 鹿島建設・サンケイビルテクノ共同企業体
モジュール 日立グローバルライフソリューションズ株式会社



なお、本事業は経済産業省による「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」の交付決定を受けて実施しています。同事業は、今後の変異株や新たな感染症への備えとして、平時は企業のニーズに応じたバイオ医薬品を製造し、有事にはワクチン製造へ切り替えられるデュアルユース設備を確保するものです。また、ワクチン製造に不可欠な製剤化・充填設備や、医薬品製造に必要な部素材等の製造設備への支援も行われています。

また、本事業では、日本学術振興会のJ-PEAKS（地域中核・特色ある研究大学強化促進事業）の支援により推進体制の強化を進めており、広島大学では今後も、本支援により創薬研究を推進していきます。

【お問い合わせ先】

広島大学産学連携企画グループリーダー 松井
Tel：082-424-4313

